

ヤモリで漏電

富山支店保安課 真下 宏範

秋も深まり、少し肌寒く感じる頃でした。お客さまより事務所の漏電ブレーカーが切れるので、見に来てほしいと電話をいただきました。

お客さまの事務所に着いて状況を確認したところ、動力の主漏電ブレーカーが切れていました。絶縁抵抗を測定しましたが異常ありませんでしたので、“何かのスイッチを入れた時に、漏電遮断機が切れたということはありませんか”とお客さまにお尋ねしたところ、“長い間使っていなかったエアコンを入れて、しばらくしたら切れた”とのことでした。

念のため、お客さまにそのエアコンのスイッチを入れていただいたところ動力の主漏電ブレーカーが切れたので、再度絶縁測定をしましたが異常はありませんでした。

故障原因が特定出来ないまま、事務所用エアコンの室外機から順番に点検することにしました。最初に電源接続部分を見るために室外機のカバーを外すと電源の端子台があり、そこを見ると灰色のゴミが乗っていました。そのゴミを取り除こうとドライバーの先でそっと触ったところ、その灰色のゴミが動いて逃げて行くではありませんか。そのゴミの正体は端子台にちょうど乗る体長3センチぐらいのヤモリだったのです。もしやこれが原因かと思い、エアコンの電源を入れてみたところ、漏電ブレーカーも動作すること無く正常に運転することが出来ました。ちょっと見た目には、見逃してしまいそうなヤモリが漏電ブレーカーを動作させたのです。中には、ヤモリが高圧設備の停電原因の事例もあると聞いています。

ヤモリは、他の小動物と違い小さいため、わずかな隙間や通風孔などから侵入してねぐらや餌場とするので、このような故障には十分注意が必要です。

これからも、故障原因の原因追究には最大限の努力をしてまいりたいと思いますので、今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

